



課題学習として取り組んでいる内容をパワーポイントで資料を作成し、3学期に発表会を実施している。個別のテーマを設定させているなかでオリンピックムーブメントやパラリンピックムーブメントについて調べる生徒もいる。文化として位置づけられたスポーツの部分やオリンピックの歴史や競技スポーツにおける競争の意味、メディアによるスポーツへの影響、オリンピックと国際理解、世界の民族スポーツなどへの興味・関心を高められているように感じられる。また、体育概論の授業でオリンピックムーブメントについて授業を実施している。

6 主な成果

今回、熊本西高等学校普通科体育コース1，2年生80人に対してご講演いただき心より感謝申し上げます。普段は机上の論説とばかりに、あまり現実味のわからない生徒たちがオリンピックの講演によってこれまで抱くことのなかった印象が得られたように思う。

ご講演いただいたアテネオリンピック柔道女子78kg超級金メダリスト塚田真希様に多岐にわたるお話をしていただいた。ご自身の生い立ちや挫折や苦難の日々をどう乗り切って現在に至っているのか。

決して諦めない不屈の精神を支えたものや言葉。いかなる競技においても精通する相手に勝つためには己自身にうち克つモチベーションの秘訣など。普段は見ることも経験することもないであろう柔道を実演を交えた指導や技の披露が生徒たちの印象に強く残ったことが感想文を読んでも理解できた。一生に一度あればという機会になる自国開催される東京オリンピックに対して生徒たちの興味もこれまで以上にかき立てられたように思う。今後も体育概論やスポーツ総合演習などで継続して取り組み、ボランティアなど支える観点からの関わりを増やしていきたい。2020年に向けた更なる取り組みができると考えている。

7実践において工夫した点(事業の特色)

本校は文武両道をモットーとしており、学習活動の充実と部活動の活性化を推進している。中でもラグビー、陸上、剣道、なぎなた、水泳、柔道などの種目に高い競技力を有する生徒が多い。全国で上位入賞を果たす生徒もおり、世界的視野をもって更なる競技力の向上を志す良いきっかけとなることを期待している。今回は武道のオリンピックを招き異種目との交流や他種目への興味を持たせられた。スポーツを通して学年間の相互理解やクラスメイトとの親睦がこれまで以上に深まったように感じられた。

8 主な課題等	<p>オリンピックメダリストの講演を拝聴できる機会や直に質疑できることは滅多にない経験である。しかし、講演者のスケジュールや学校行事など考慮すべき点が多々あった。折角の機会をなんとか合理的かつ充実したものにしたと感じた。今後は早期（少なくとも1年前）には期日と講師を決定させ実施することで更に充実させられるよう準備できたのではないかと反省している。また、2020年後にメダリストの派遣事業など依頼できたら生徒たちに夢を持たせられるのではないかと感じた。</p>
9 来年度以降の実施予定	<p>来る東京オリンピックに向け更なる授業の継続や工夫や手立ての改善を念頭に取り組んでいく。さらに2019年は普通科や理数科など全校生徒に発信し、オリンピックイヤーに備えたいと考えている。また、2020年東京オリンピック出場選手の特集記事や競技ルールなど「見る・知る」ことでより興味・関心が高まるよう取り組んでいきたい。構内掲示用の壁新聞や図書館内に特集コーナーなどを設置したり、体育授業時に映像を見せ実際にできる種目を取り入れ、多岐にわたる知識や技能の習得を試みたいと考えている。2020年以降にメダリスト講演など企画があれば是非とも協力していただきたいと願う。</p>